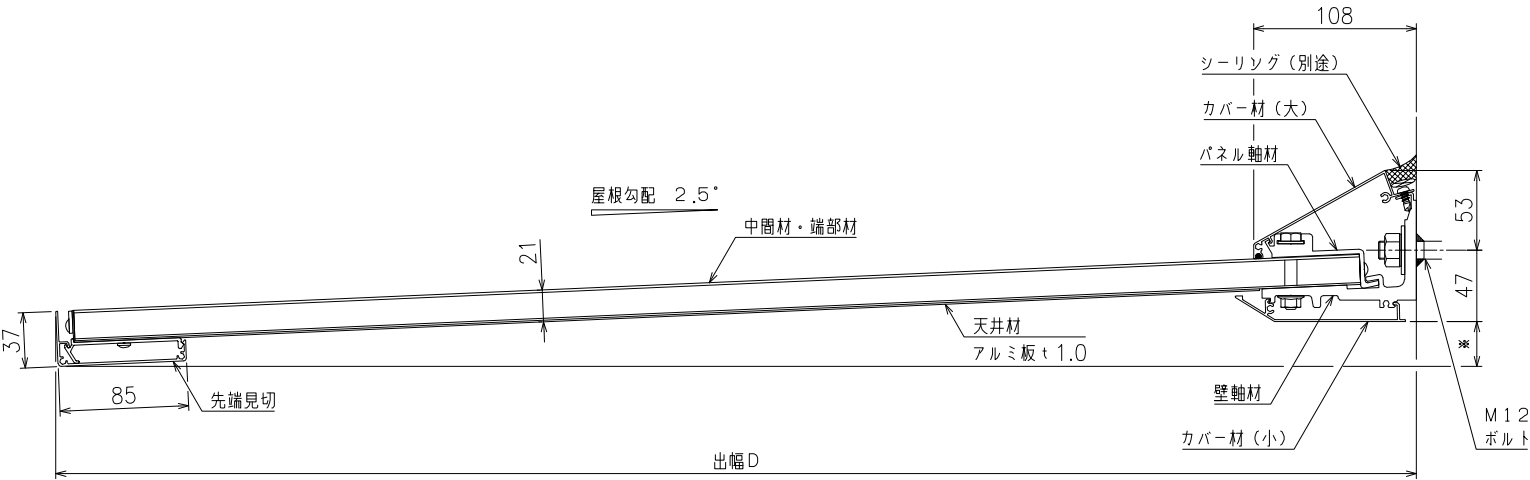


参考寸法図

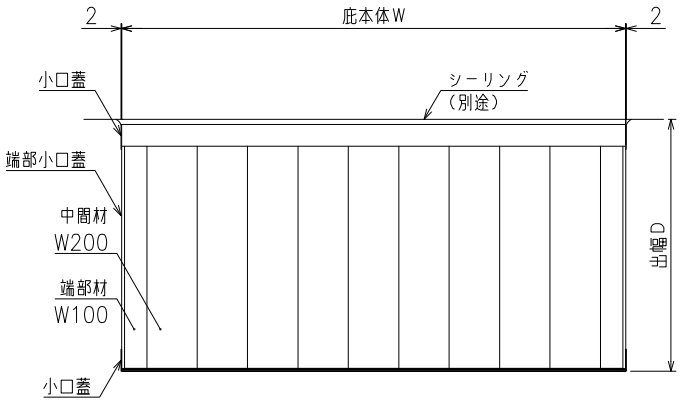


断面図 1:5

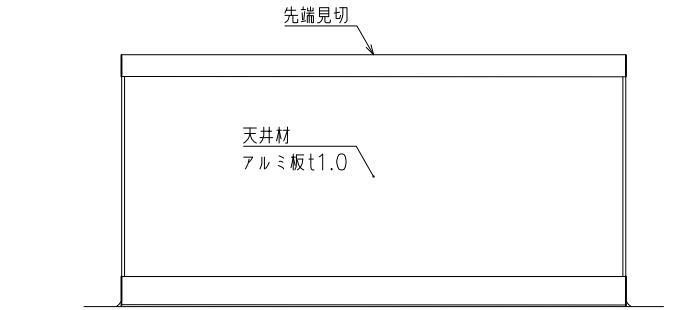
出幅D (mm)	600	900
※寸法 (mm)	17	30

■モジュール			
出幅D (mm)	底本体W (mm)	製品強度 (N/m ²)	耐積雪高 (cm)
600	1000・2000	5440	180
900	1000	2420	80

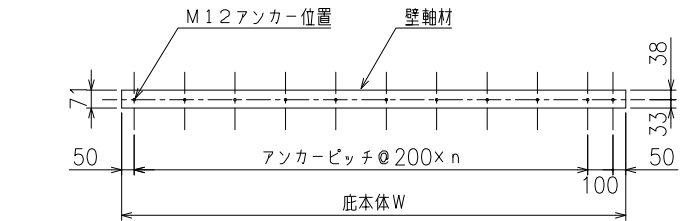
※耐積雪高は製品強度に対する数値で、積雪の単位荷重を積雪量1cmごとに1m²につき30Nで算出しています。



平面図 1:30

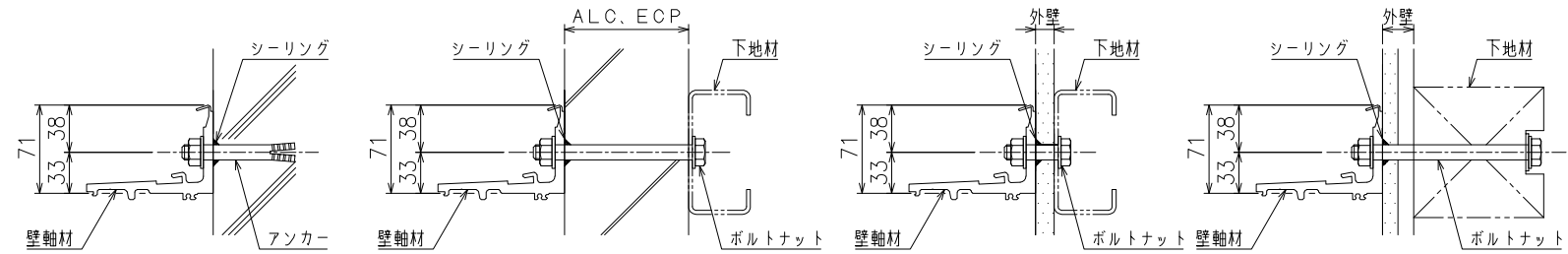


見上げ図 1:30



アンカー図 1:30

底本体W	アンカーピッチ
1000	@200×4
2000	@200×9



コンクリート下地に取付ける場合

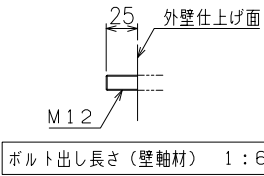
ALC、ECP下地に取付ける場合

鉄骨下地に取付ける場合

木下地に取付ける場合

壁際納まり参考図 1:6

※図は一例です。取付壁面、下地材、アンカー、ボルトナットを保証するものではありません。
※取付壁面が損傷しないように、取付壁面の種類に応じて、スペーサー（別途）を使用する、躯体から取付用下地材（別途）を持ち出すなどの対策を行ってください。
※設計時に取付壁面や下地材、躯体の強度等を確認し、現場条件に合う十分安全な下地材、アンカー、ボルトナット類を選定してください。
それらの強度不足等による、事故、損傷、変形等の損害についての責任は負いかねます。
※下地材は壁軸材以上のサイズのものを使用してください。 ※下地材は構造体に固定してください。 ※アンカー、ボルトナット、下地材、シーリングは別途です。



ボルト出し長さ（壁軸材） 1:6

品目名称 アルミニウム製底 RSバイザー RS-FST型

工事名称

図面名称 平面図・見上げ図・アンカー図・断面図・壁際納まり参考図

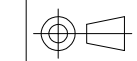
日付

2023-04-17

尺度

1:5/1:6/1:30

図番



頁

/

アルミニウム製 庇

RS バイザー RS-FST 型

施 工 要 領 書

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。



— 目 次 —

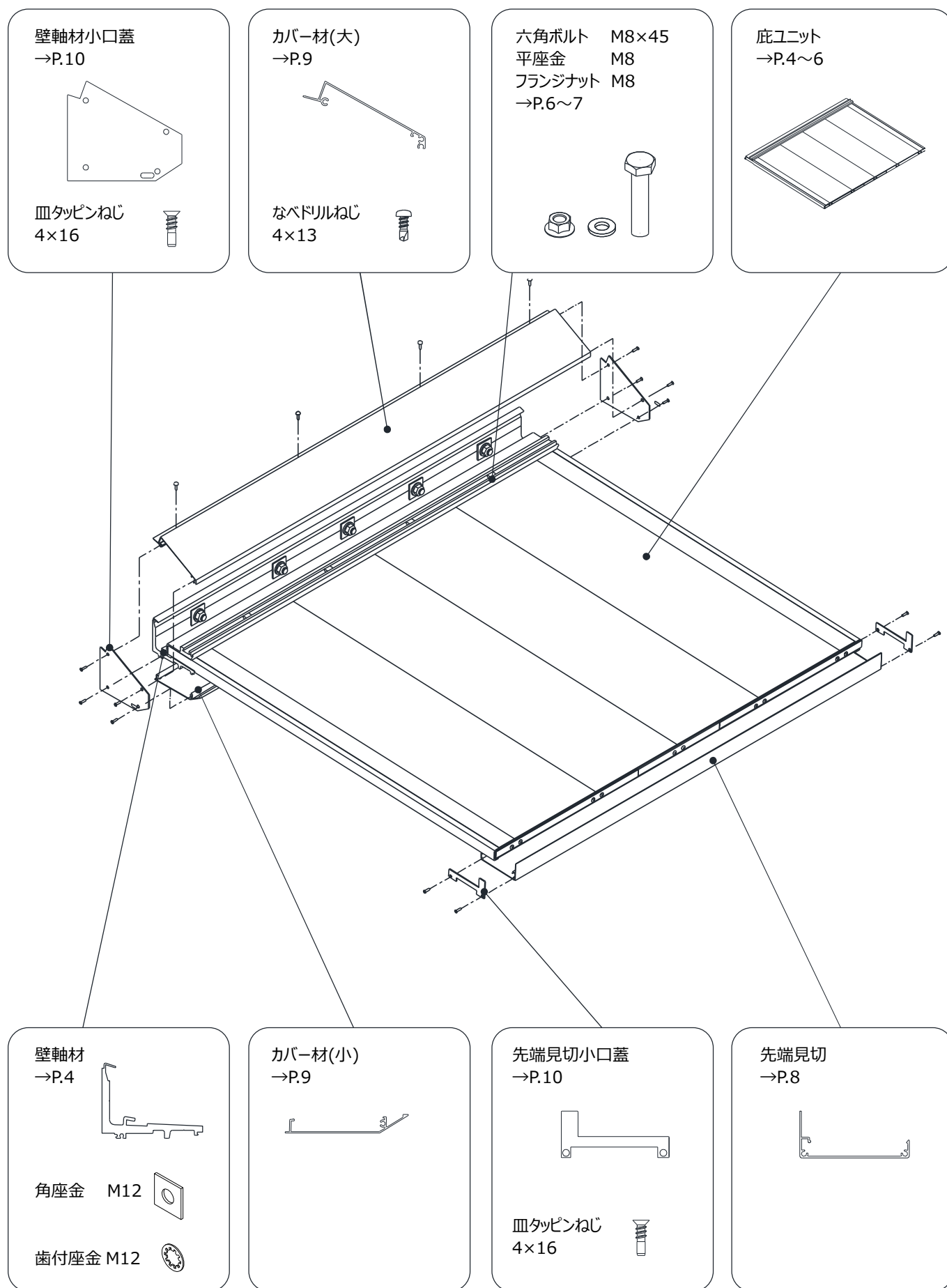
施工上の注意点	_____	1
部材名称	_____	2
施工手順	_____	3～11
施工確認チェックシート	_____	12

施工上の注意点

- ☐ 転落や破損の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ☐ ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- ☐ 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- ☐ 庇の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- ☐ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 部材名称 RS-FST



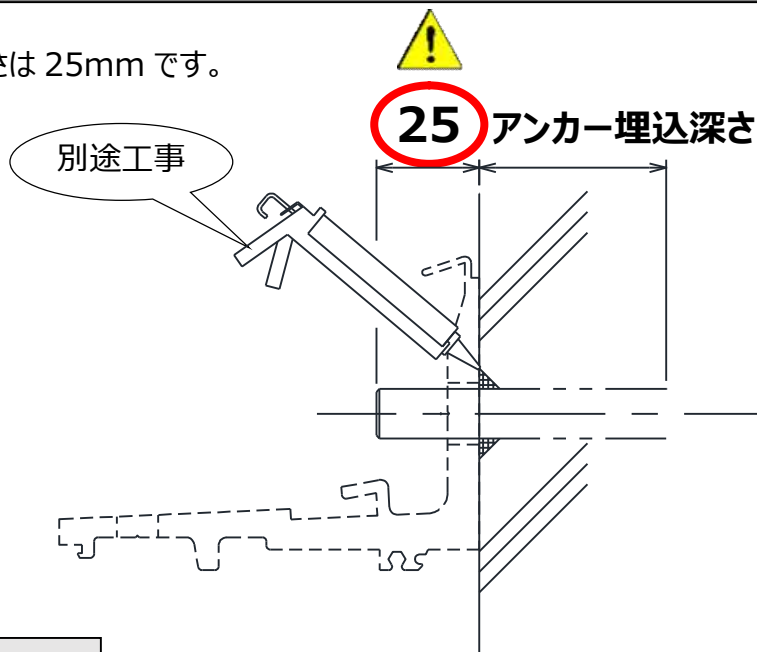
■ 施工手順

1. 墨出しをする

アンカープランに従い、墨出しを行います。

2. 取付ボルトを準備する

- ボルト出し長さは 25mm です。



準備するもの

- 取付ボルト M12 (別途)

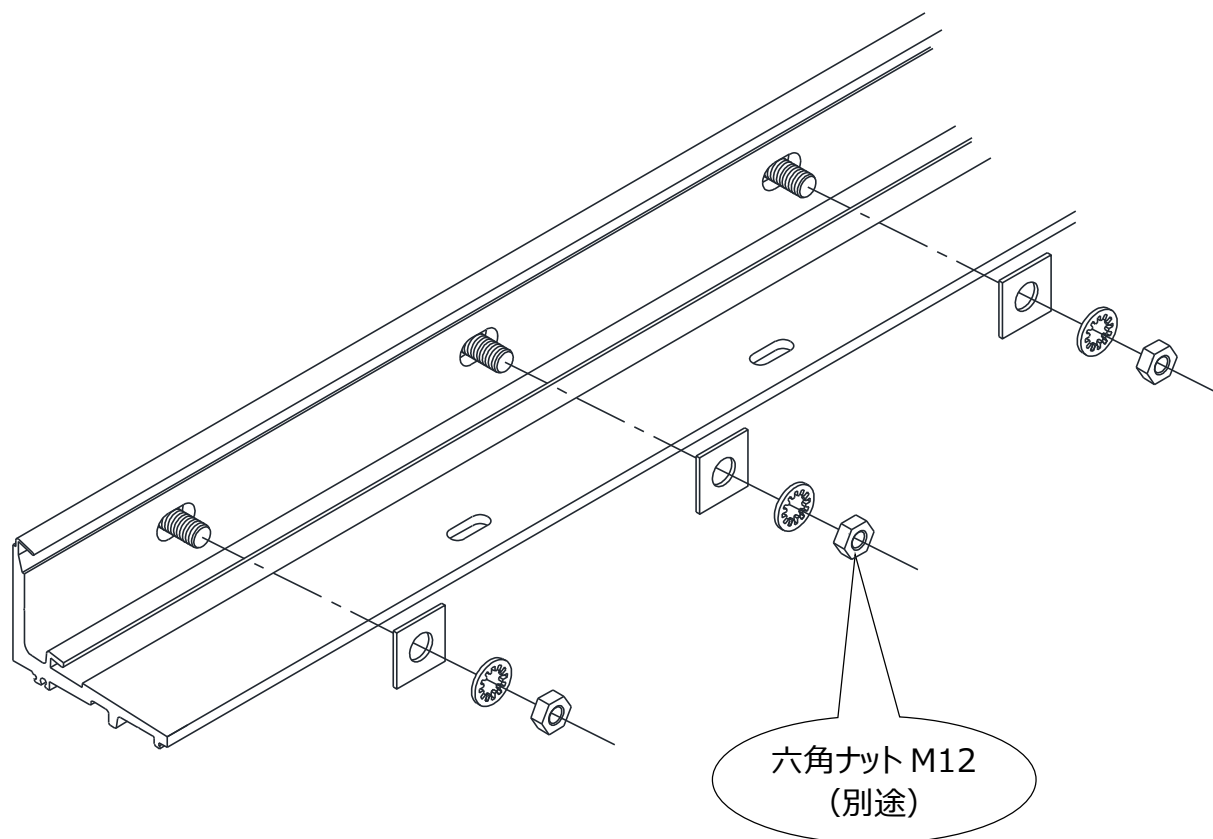
⚠ 注意

- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ ボルトを規定の長さ以上出すとボルトがパネル軸材にあたり取付が出来ない場合があります。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。
- ☑ 躯体によりアンカーピッチを変更する場合は、壁軸材に新設穴をあけて取付けてください。アンカー数は減らさないでください。

3. 壁軸材を取付ける

⚠ 壁面の出入りを調整し、壁軸材を取付けてください。

角座金と歯付座金を使用し、取付ボルトを本締めします。



⚠ 壁軸材が水平に取付けているか確認してください。

準備するもの

- 壁軸材



- 角座金 □32 t 2.3



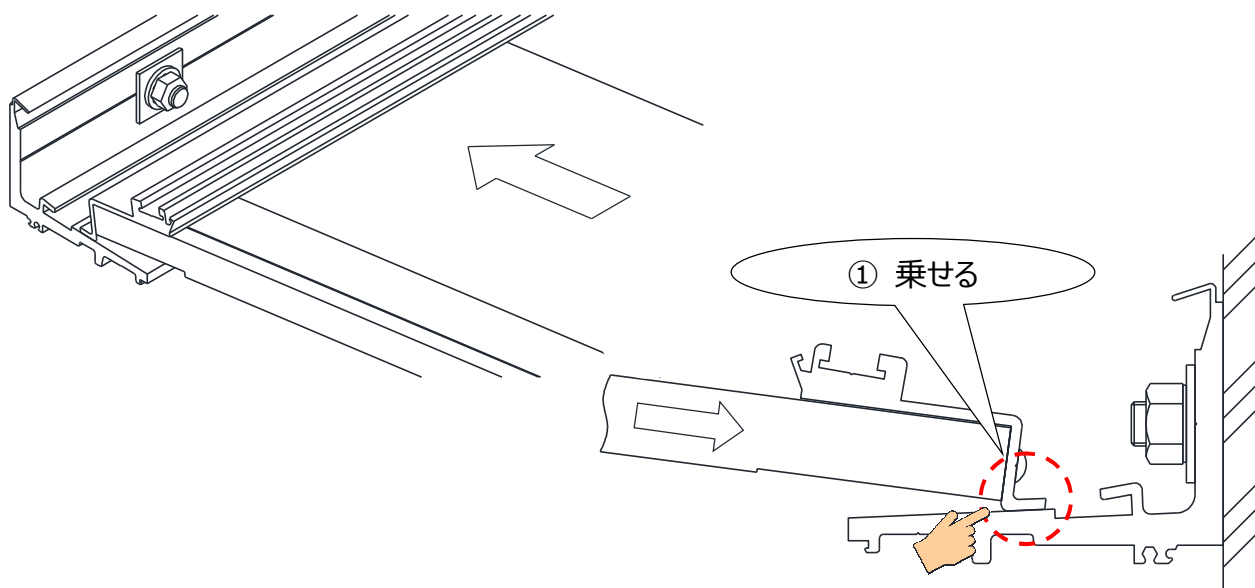
- 歯付座金 M12



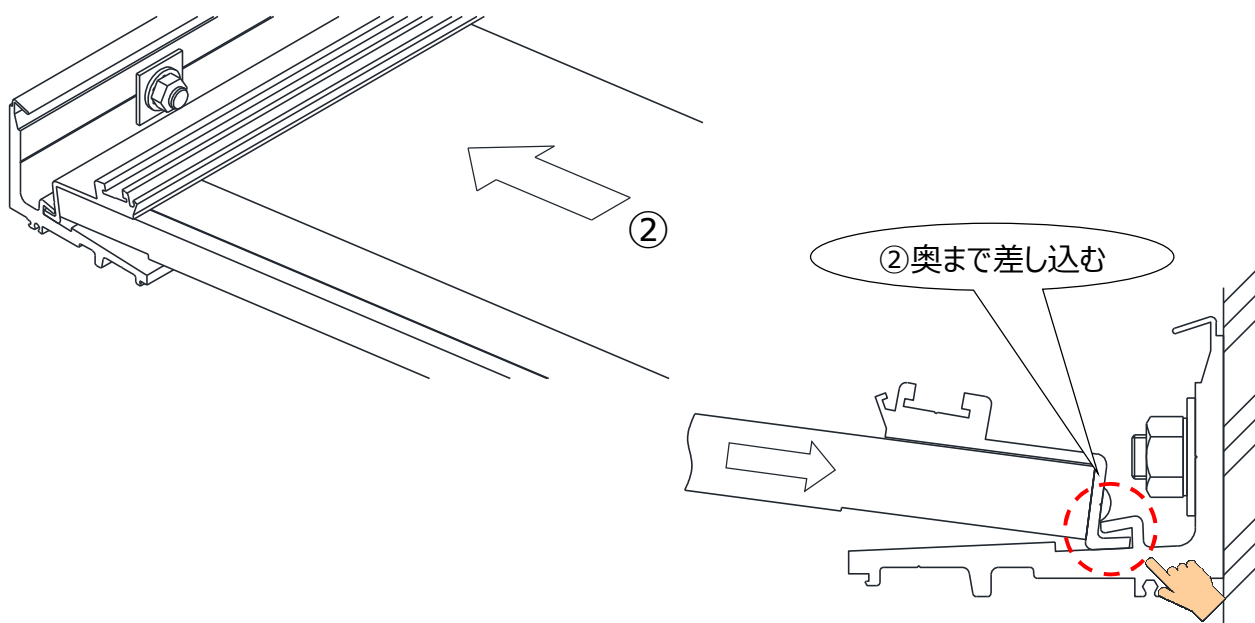
- 六角ナット M12 (別途)

4. 底ユニットを取付ける

① 底ユニットを壁軸材に乗せ、

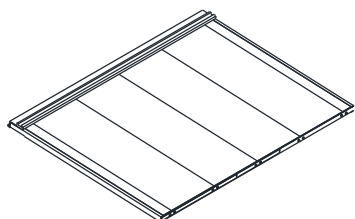


② 底ユニットを奥まで差し込み、

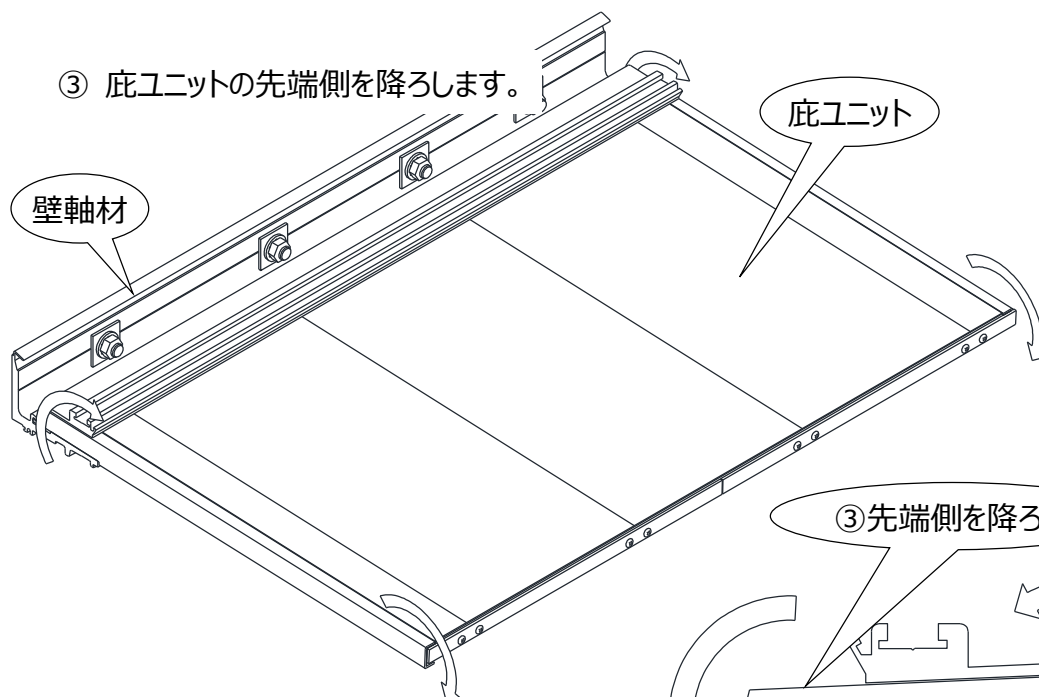


準備するもの

- 底ユニット

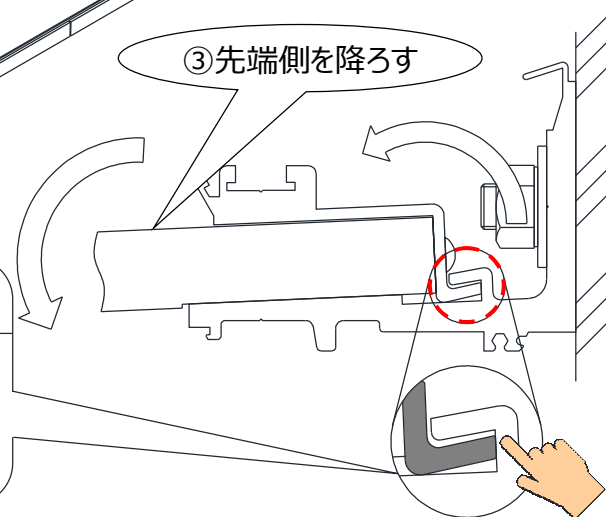


③ 底ユニットの先端側を降ろします。

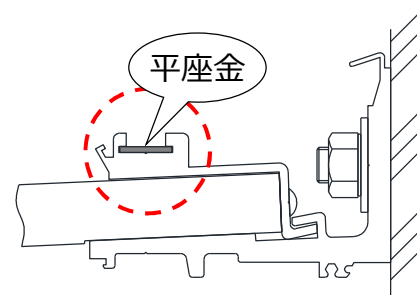
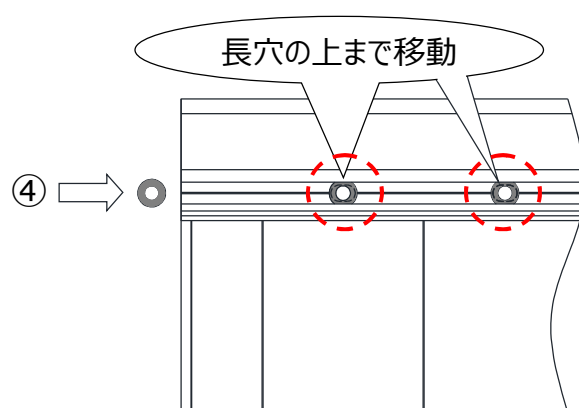
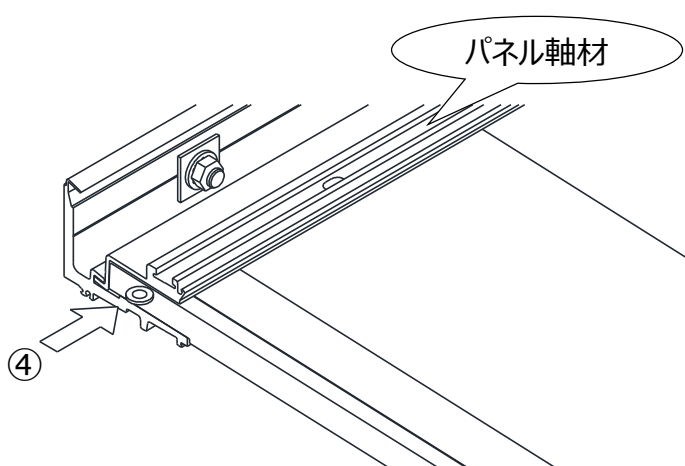


⚠ 注意

底ユニットが壁軸材に確実に引っ掛かっていることを確認してください。



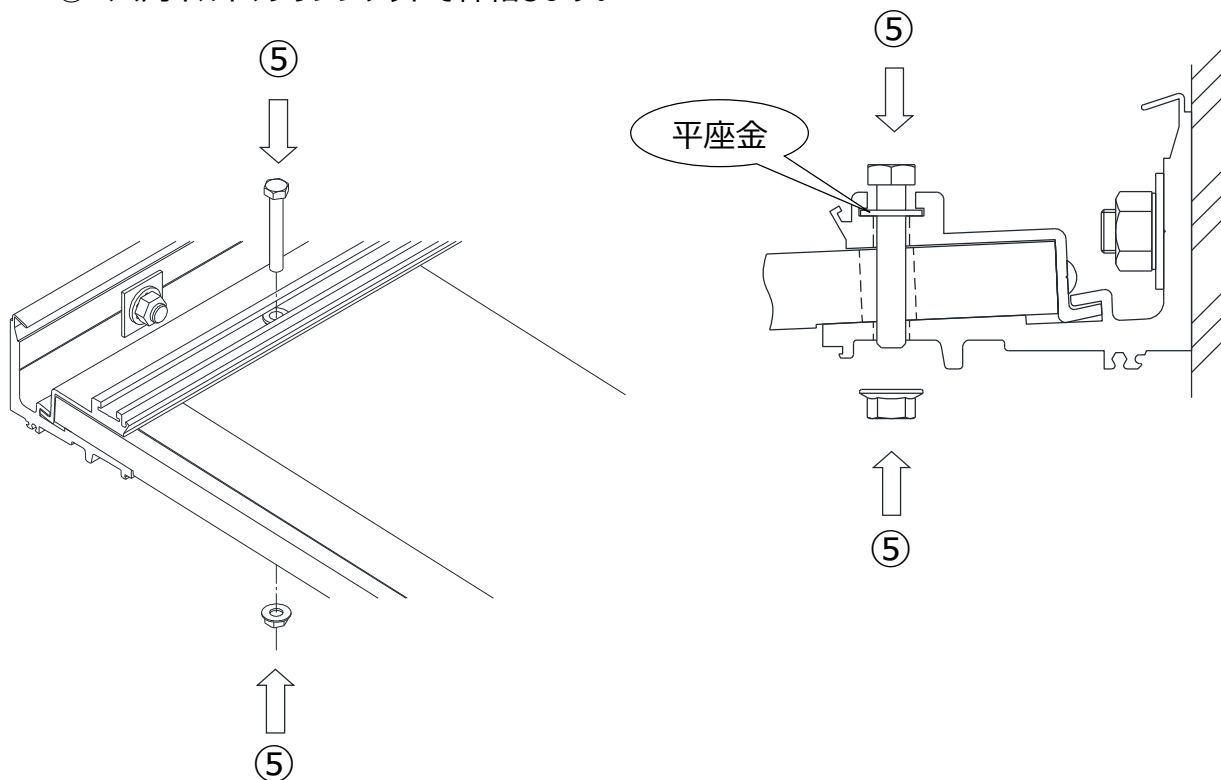
④ パネル軸材の溝に、各長穴の個数分の平座金を差し込み、長穴の上まで移動します。



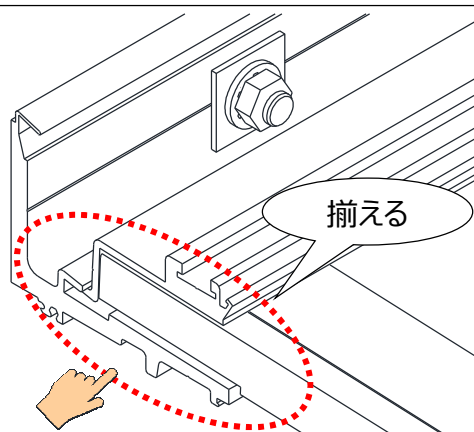
準備するもの

- 平座金 M8

⑤ 六角ボルト、フランジナットで締結します。



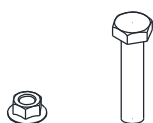
⚠ 注意



壁軸材と底ユニットとの面を揃えてください。
小口蓋が取付けられない場合があります。

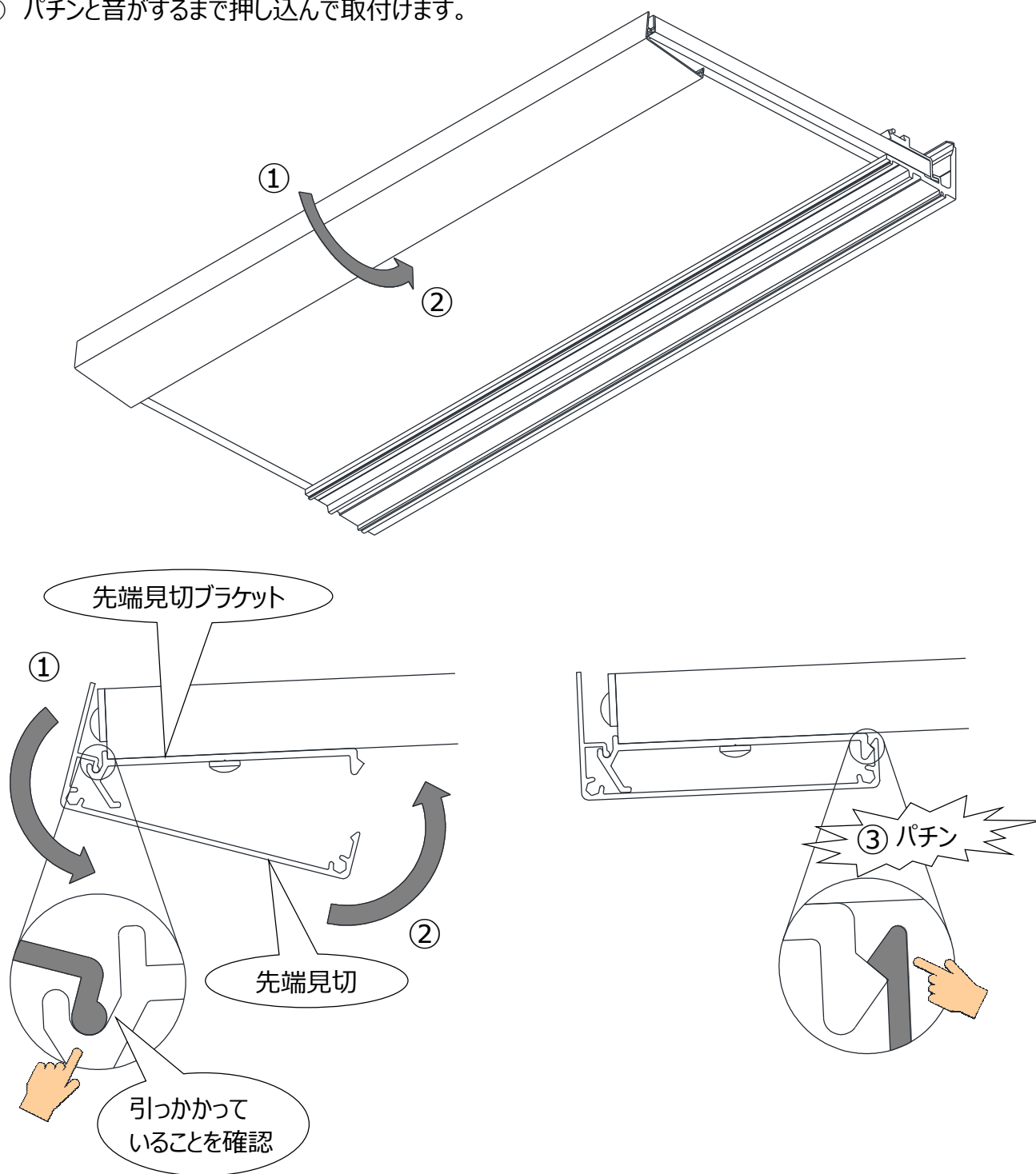
準備するもの

- 六角ボルト M8×45
- フランジナット M8



5. 先端見切を取付ける

- ① 先端見切を先端見切ブラケットに引っ掛け、
- ② 回転させながら押し込み、
- ③ パチンと音がするまで押し込んで取付けます。



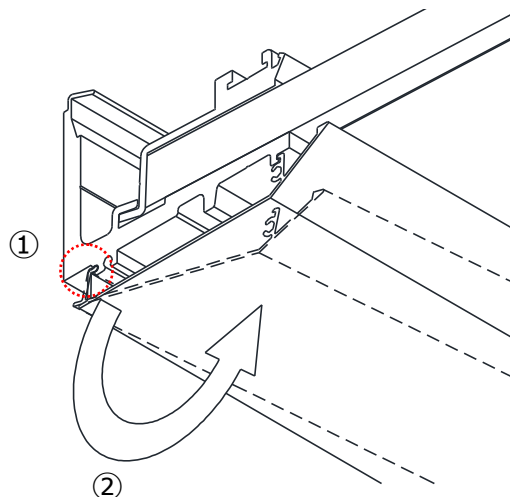
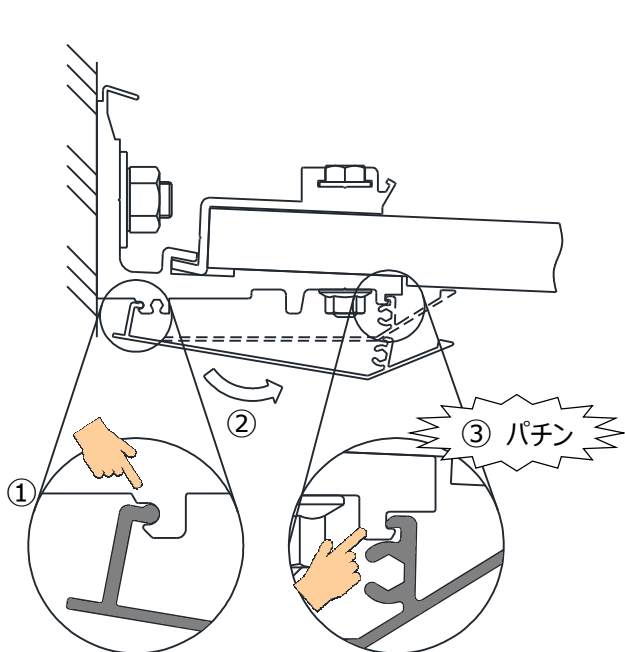
準備するもの

- 先端見切



6. カバー材（小）を取付ける

- ① カバー材（小）を壁軸材に引っ掛け、② 回転させ、③ パチンと音がするまで押し込みます。



⚠ 注意

押し込みにくい場合は、
当て木等をして軽く叩き込んでください。

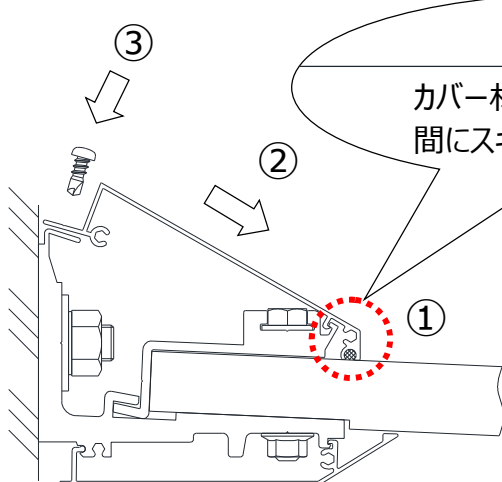
準備するもの



- カバー材（小）

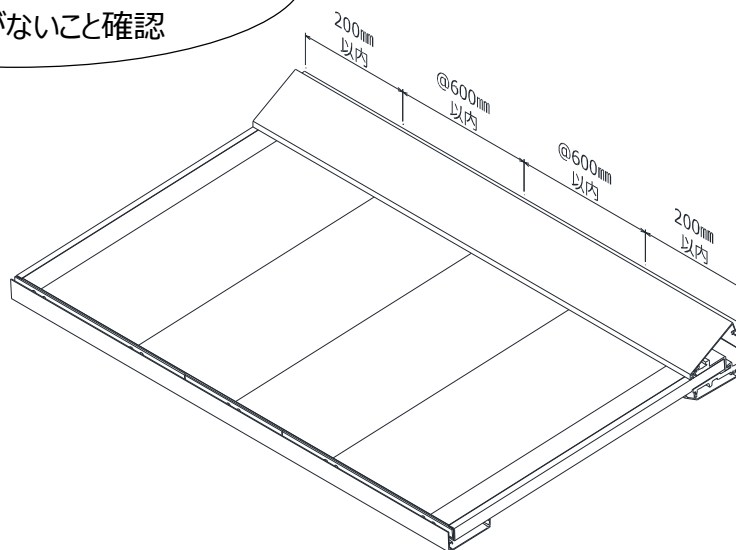
7. カバー材（大）を取付ける

- ① パネル軸材に引っ掛け、② カバー材（大）を押さえながら、
③ ナベドリルねじで下図ピッチにて壁軸材に固定してください。

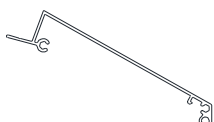


⚠ 注意

カバー材（大）と庇ユニットとの
間にスキマがないこと確認



準備するもの



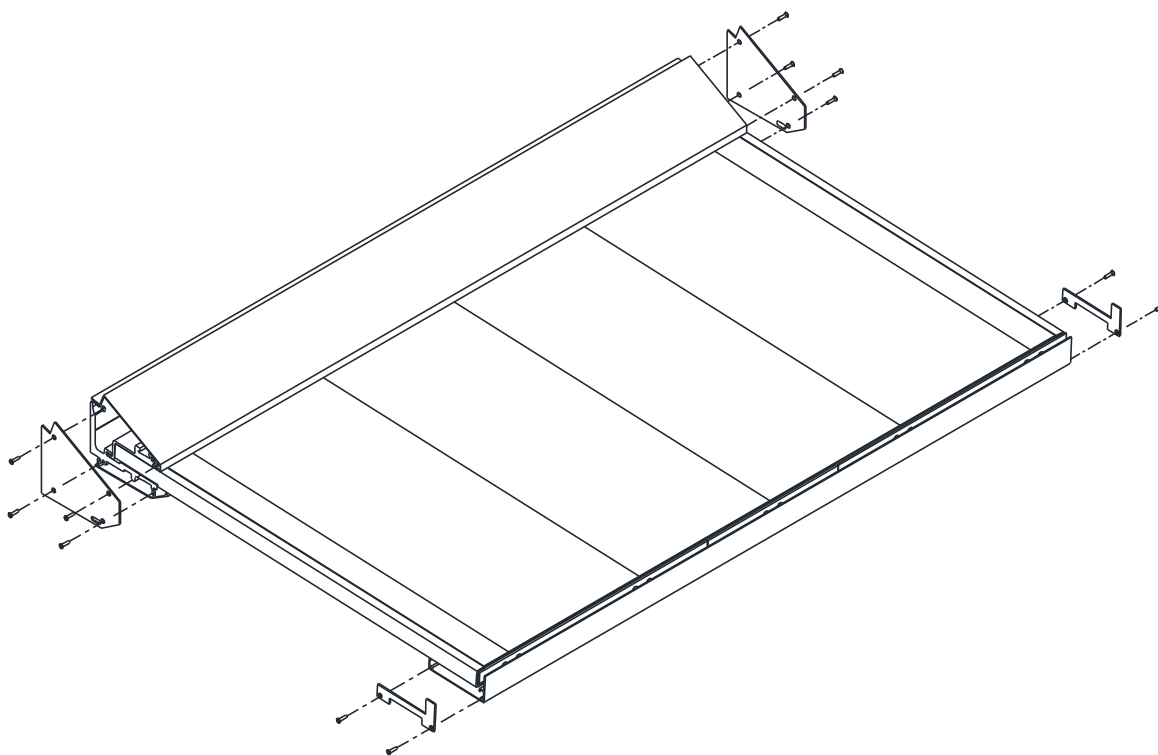
- カバー材（大）



- ナベドリルねじ 4×13

8. 小口蓋を取付ける

皿タッピンねじで小口蓋を固定してください。

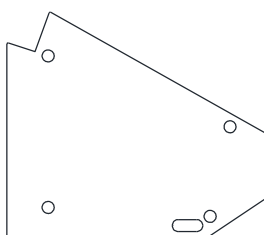


準備するもの

- 先端見切小口蓋



- 壁軸材小口蓋

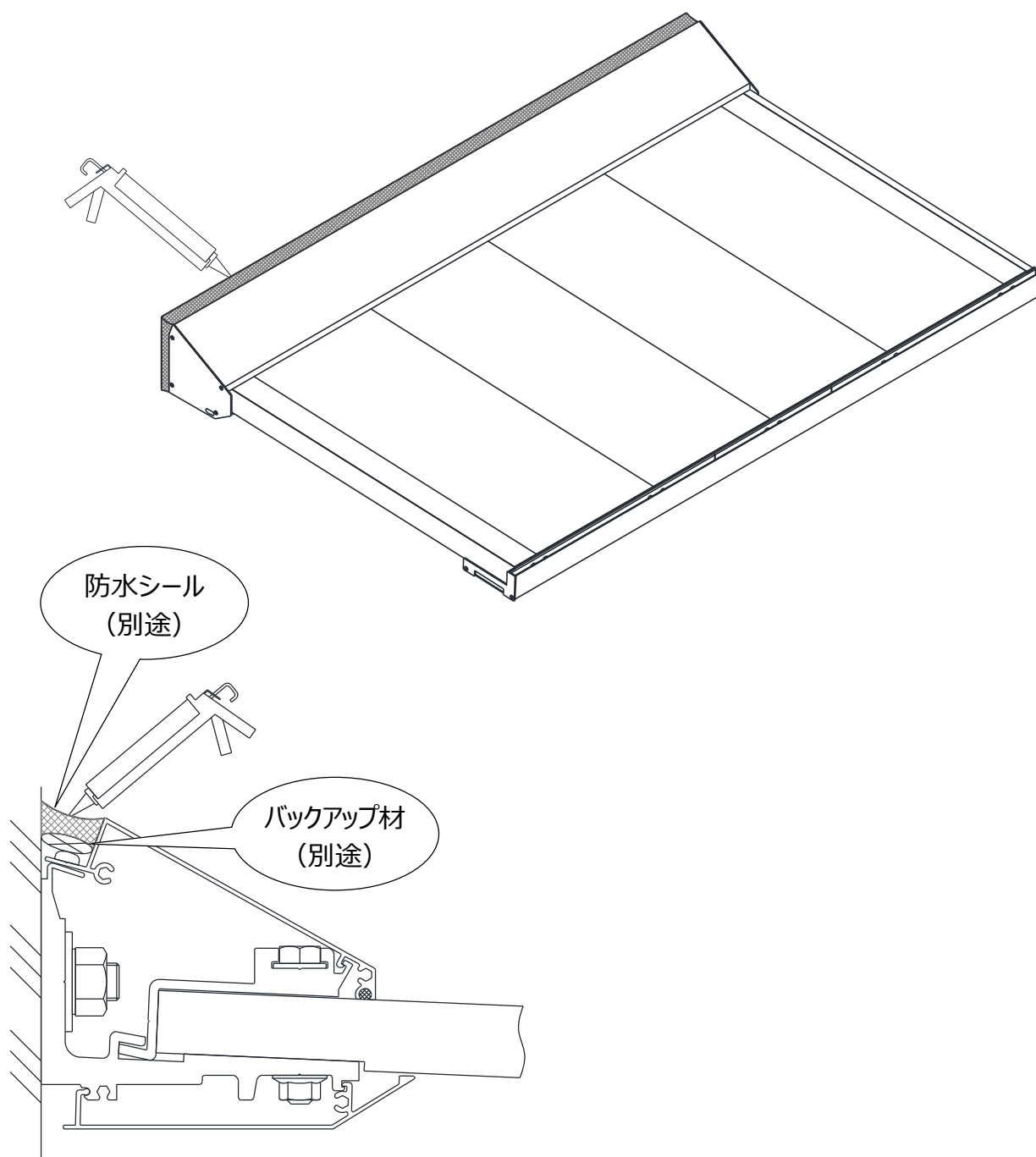


- 皿タッピンねじ 4×16



9. 防水シール工事（別途）

壁軸材上部と端部に防水シール（別途）を施してください。



準備するもの

- 防水シール（別途）
- バックアップ材（別途）

施工確認チェックシート

P.3 以降の施工手順中、重要なポイントをまとめていますので、ご確認ください。

項 目	チェック		内 容	ページ
アンカー 取付要領			ボルトの長さは規定寸法の 25mm 以内ですか？	P.3
壁軸材			壁面の出入りは調整しましたか？	P.4
			アンカー、ボルト数は、規定数量通り確実に固定しましたか？	
			水平の確認は出来ていますか？	
庇ユニット			パネル軸材が奥まで入っていますか？	P.5～7
防水シール			指示箇所は全て防水シール（別途）を施しましたか？	P.11
ねじ・ボルト類			規定箇所に正しく固定されていますか？	全般

チェックを入れながらご使用ください。